

令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人子どもセンター帆希

1. 子どもシェルター運営事業

令和6年度は、前年度に入所した1名の在籍からのスタートでしたが、7～9月には4～5名が生活する状態となりました。人数の多いときでも、子どもたちは自分の思いや要望を素直に出して、楽しく健やかに生活することができていたように思います。8月には昨年研修講師のご厚意でダンスワークショップを開催することができ貴重な経験をさせていただきました。

今年度の入所相談件数は26件あり、入所人数は12人でした。本人から申し込みは6件ありましたが、義務教育課程年齢の場合には、学習権の保障の観点から管轄の児童相談所につなげる対応をしました。また、他県の子どものシェルターからの問い合わせで入所につながった子もあり、子どもシェルター同士の連携の重要性を実感しました。

入所日数（年度内退所者のみ集計）については、最短で4日、最長で121日、一人当たり平均すると64日となり、概ね例年どおりとなっています。年度後半では退所先の調整が難航し、入所期間が長期化する傾向がみられましたが、県内に自立援助ホームが増えたためか、自立援助ホームへの移行は比較的スムーズに行われました。

【令和6年度 入所相談件数及び入所件数】

	問い合わせ元								入所件数	
	本人	親族	知人	児相	弁護士	市町村	その他	合計	はるつげ	かぜまち
R6.4	1	0	0	2	0	0	0	3	1	0
R6.5	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1
R6.6	2	0	0	1	0	0	0	3	1	0
R6.7	1	0	0	4	0	0	0	5	4	0
R6.8	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
R6.9	0	0	0	1	0	0	2	3	2	0
R6.10	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
R6.11	0	0	0	3	0	0	0	3	1	0
R6.12	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0
R7.1	1	0	0	5	0	0	0	6	0	0
R7.2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
R7.3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
合計	6	0	0	21	0	0	4	31	12	2

※その他…市町村、他県の子どものシェルターなどの関係機関

2. 自立援助ホーム運営事業

令和6年度は、令和3年及び令和5年に入所した5名でのスタートとなりましたが、5月には1名の入所を迎え、満室となりました。夏には子どもたち発案のBBQ大会を開催しました。猛暑も子どもたちの元気で吹き飛んだように思います。高校3年生の3名は、それぞれ希望の進学先（大学、専門学校など）が決まり、充実した1年となりました。令和3年に入所した2名の大学生は、年度内に自立の準備が整い、大学や就職先の近くに居を構え、無事退所となりました。12月には退所者も招待してのクリスマスパーティーも開催し、成長したOGの姿が頼もしく感じられました。3月には新たに高校3年生1名が入所し、新年度からの新しい生活に向けた支援を開始しました。

なお、グラドルルール違反が繰り返された子どもについて、本施設での自立を目指すことが困難となったため、退所に向けた対応を行いました。その手続きの中で、当事者及び他の子どもたちに大きな負担を生じさせてしまいました。この点は大いに反省しなければならないことと考えています。新年度に今回の振り返りや再発防止に向けた対応を検討していく予定です。

令和6年度 入退所者数（人）

入所数	退所数
2	2

令和6年度 在所者の構成（人）

高1	高2	高3	大学	専門学校	就職
0	1	4	0	0	0

令和7年3月末日現在

3. 研修

職員・ボランティアを対象とした研修を次のとおり実施しました。

① 職員研修

◆令和6年5月 新入職員研修（令和5年度のボランティア研修録画受講）

◆令和6年8月21日 一般社団法人TICC「虐待を受けた子どもに話を聴くとき
～Do's and Don't～」

◆令和6年10～11月 千葉県運営適正化委員会「福祉サービス苦情解決研修会」

◆令和6年11月5日～6日 自立援助ホーム全国大会

② 継続ボランティア研修

◆令和7年3月1日 「好きで非行少女になってるわけじゃない」

～少女たちの家庭的背景との葛藤を理解する～

講師：上條理恵氏（少年問題アナリスト・元上席少年補導専門員・東京経営短期大学 特任准教授）

研修終了後、茶話会を実施

③ 新規ボランティア研修

- ◆令和6年10月5日 子どもの権利 （理事長 後藤弘子）
子どもシェルターについて（副理事長 中溝明子）
児童虐待について（理事 水島川洋子）
発達障害を抱える子の生活支援（井出みどり 千葉建生病
院発達外来心理士）
- ◆令和6年10月26日 思春期と性 （岡嶋祐子 国立病院機構千葉医療センター
産婦人科非常勤医師）
トラウマインフォームドケア（大嶋栄子 NPO 法人リカ
バリー理事長）
児童家庭福祉論（理事 稲垣美加子）
帆希のボランティア活動（ボランティアコーディネータ
ー 染谷昭子）

4. 子どもの権利に関する広報・啓発事業

- ・令和6年9月 5日 ちばぎんハートフル福祉基金助成交付式（中溝副理事長）
- ・令和6年 9月20日 DV 被害者等支援連絡会議 出席（中溝副理事長）
- ・令和6年 9月21日 四街道ロータリークラブ卓話（中溝副理事長・染谷 VC）
- ・令和6年 9月28日 子どもシェルター全国ネットワーク会議 2023 in 埼玉
～29日 （理事長・中溝副理事長・事務局長・はるつげ荘職員）
- ・令和6年11月 6日 市町村説明会（理事長・松田理事・目羅施設長）
- ・令和6年11月19日 千葉県就労支援事業者機構研修講師（村山理事）
- ・令和6年11月22日 千葉キワニスクラブ例会卓話（理事長）
- ・令和7年 3月 8日 ソロプチミスト チャリティーショー助成金授与式
（中溝福理事長）

5.事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
子どもシェルター運営事業	子どもシェルター等運営のための人材育成	R6.5 R6.10.5 R6.10.26 R7.3.1	千葉市内	5	子どもシェルター等職員（予定者含む）及びボランティアスタッフ希望者 45名程度	233
	子どもシェルターを運営し、居場所のない子どもを引き受ける	随時	千葉市内	7	居場所のない子ども 13名程度	33,146
	児童相談所、女性サポートセンター等との協議会		千葉市内	0	実施せず	実施せず
自立援助ホーム運営事業	自立援助ホームを運営し、継続的な居場所を提供し子どもたちの自立を支援する	随時	千葉市内	7	児童自立生活援助事業対象の子ども 7名	38,281
困難を抱えた子どもに対する法的支援活動事業	シェルター入所の子どもに対する法的支援	随時	千葉市内	4	子どもシェルター等入所の子ども12名	103
未成年後見に関する事業	未成年後見人の受任（調査・検討を含む）	実施せず				0
子どもの権利に関する広報・啓発事業	ニュースレター・リーフレット作成、ホームページ更新等による普及啓発活動	随時	法人事務所	5	子どもシェルター等に関心のある不特定多数	609
	市町村の児童虐待担当者向けの説明会を開催する	R6.11.19	法人事務所	3	子どもシェルター等に関心のある市町村及び関係機関 13団体	0

(2) その他の事業 なし